

彙 報

会 長 梅 田 博 之

平成6年度第2回常任委員会

日 時：平成6年9月6日（火）午後1時半～5時半

場 所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所第1研修室

出席者：梅田博之（会長），坂本比奈子（事務局長），荻野綱男，角田太作，長野泰彦，吉田和彦

オブザーバー：副島昭夫（事務局長補佐）

議事と報告

（1）第109回大会（平成6年度秋季大会）について

研究発表者など詳細を決め，プログラムを決定した。

（2）第110回大会（平成7年度春季大会）について

早稲田大学（東京都新宿区）で平成7年6月10日（土）11日（日）両日に行われる予定である。大会運営委員長は，田村すず子氏である。

（3）文部省科学研究費補助金審査委員候補者の選挙結果について

第一段審査に上野善道氏，角田太作氏，田窪行則氏，井上史雄氏，第二段審査に井出祥子氏，柴谷方良氏が選出された旨，報告があった。

（4）日本学術会議から語学文学研究連絡委員候補者推薦の依頼があり，今年度第一回委員会の決定に従い，松本克己氏を推薦したとの報告があった。

（5）学術用語集（言語学）の整理，出版についての覚え書を日本英語学会会長との間で取り交わした旨，報告があった。

（6）津田日本語教育センターからの第七回日本語シンポジウムに対する後援依頼について討議のうえ後援を了承することとした。

（7）三省堂出版局高橋昭氏への謝礼に関して，高橋氏は辞退され，全額を日本言語学会にご寄付くださったとの報告があった。

(8) CIPL 会費増額に対する礼状が柴田武氏宛に届いたこと、なるべく早い時期に送金の手続きを取る旨了承された。

(9) その他

角田氏より選挙制度改正の提案があり、討議のうえ、平成6年度第2回委員会で検討することになった。

荻野氏より予稿集作成の提案があり、討議のうえ平成6年度第2回委員会で検討することになった。

平成6年度第2回委員会

日 時：平成6年11月5日（土）午前10時～12時

場 所：名城大学 108講義室

出席者：梅田博之（会長）、坂本比奈子（事務局長）、阿部泰明、大津由紀雄、荻野綱男、笥 壽雄、坂本 勉、崎山 理、庄垣内正弘、杉藤美代子、田村すす子、土田 滋、角田太作、長島善郎、橋内 武、松村一登、松本克己、宮岡伯人、村崎恭子、吉田和彦（以上20名）

委任状：44名

オブザーバー：大野仁美、副島昭夫（事務局長補佐）

議事に先立ち大会運営委員長上村幸雄氏より挨拶があった。

議事と報告

(1) 会長から平成6年度第2回常任委員会について報告があった。

(2) 第110回大会については、平成7年6月10日（土）から11日（日）に早稲田大学で行われることに決定した。大会運営委員長の田村すす子氏より挨拶があった。

(3) 平成7年度文部省科学研究費の審査委員候補者の選出につき委員各位に郵便による投票をお願いしたが、平成6年8月27日開催の選挙管理委員会において開票の結果、第一段審査には、上野善道氏、角田太作氏、井上史雄氏、田窪行則氏が、第二段審査には井出祥子氏、柴谷方良氏が当選した旨、報告があった。

(4) 日本学術会議より語学文学研究連絡委員会委員候補者について、平成6

年8月3日付けで推薦依頼があり、今年度第一回委員会での決定に従い、松本克己氏を推薦した旨、報告があった。

- (5) 学術用語集（言語学）の整理・出版についての覚書を日本英語学会長ととりかわした旨、報告があった。
- (6) その他
 - (ア) 日本学術会議会長より次の二件の要請があり、以下のように決定した。
 - (a) アジア学術科学者会議（平成7年2月6日～9日開催）を日本言語学会として後援することとした。
 - (b) アジア学術交流会への参加は見送ることとした。
 - (イ) 少数民族言語調査のための小委員会について委員長の土田滋氏より経過報告があった。
 - (ウ) 津田日本語教育センターから第7回日本語シンポジウムについて後援依頼があり、常任委員会で検討の結果了承した旨、報告があった。
 - (エ) 国立民族博物館館長に対し、マルチメディアデータ公開促進に関する要望書を会長名で出した旨、報告があった。
 - (オ) CIPL 会費増額に対する礼状が柴田武氏あてに届いたこと、今年度会費は年度末を待たずすでに送金したことが報告された。
 - (カ) 三省堂高橋氏は、協力謝礼を辞退され、全額を日本言語学会にご寄付くださった旨、報告があった。
 - (キ) (a) 学会の経費削減に関して、種々討議した。
 - (b) 大会発表予稿集作成について討議し、来年度秋の大会より試みに予稿集をつくる方向で検討することとした。
 - (c) 会長選挙の時期等について討議したが、更に引き続き検討を続けることとした。

第109回大会

期 日 1994年11月5日(土)～6日(日)

会 場 名護市民会館大ホール(5日)

名桜大学(6日)

第1日(11月5日)

講演会 午後2時～5時30分

開会の辞

公開講演 テーマ 「日本列島南と北の言語学—アイヌ語と琉球語—」

アイヌ語研究の現状と問題点 中川 裕

琉球語方言学から一般言語学へ 上村 幸雄

会員懇親会 午後6時～8時

第2日(11月6日)

研究発表 午前10時～12時20分

◦A 会場

(A 1) 10:00～ 三字漢語での促音化について 那須昭夫

(A 2) 10:30～ 日本語の EVIDENTIAL といわれる「らしい」・「ようだ」について 伊藤丈志

(A 3) 11:20～ 接続助詞「から」の終助詞的用法について 井口裕子

(A 4) 11:50～ 日本語の受動態再考 西川真理子
—機能的アプローチより—

◦B 会場

(B 1) 10:00～ 否定文の意味解釈のメカニズムにおける 三田 薫
モジュール性(B 2) 10:30～ なぜ「典型的な曜日は月曜日」と言えない 飯田朝子
のか—カテゴリーにおけるプロトタイプ
の役割—(B 3) 11:20～ 容認性の認知的説明: take a walk, make 金森千恵
a decision タイプの表現をめぐって

(B 4) 11:50～ Lexical Representation of Causative 金城由美子

Verbs in English

◦C 会場

- (C 1) 10:00～ 現代モンゴル語の主語と情報制御マーカー 水野正規
 (C 2) 10:30～ ネットワーク語における bi-gu の意味について 桐生和幸
 の一考察
 (C 3) 11:20～ アラビア語のハムザ動詞・弱動詞における 桑本裕二
 語根子音の価値
 (C 4) 11:50～ 現代ギリシャ語における二種類の空間定位 橋 孝司

研究発表 午後1時20分～3時40分

◦A 会場

- (A 5) 1:20～ 現代日本語における三種類の主格助詞省 矢田部 修一
 略現象
 (A 6) 1:50～ 日本語の感覚・感情表現の機能文法によ 堀 素子
 る分析
 (A 7) 2:40～ 〈離脱〉の表現に関するオランダ語と日 川村 三喜男
 本語との間の平行性
 (A 8) 3:10～ 日本と韓国の聞き手敬語の対照研究 荻野 綱男
 一丁寧度による聞き手と表現の分析一 金 東俊
 梅田博之
 羅 聖淑
 盧 顕松

◦B 会場

- (B 5) 1:20～ Opacity と副詞に関して 長谷川 瑞穂
 (B 6) 1:50～ 冠詞使用のストラテジー 水野光晴
 (B 7) 2:40～ 沖縄本島首里方言における口蓋化について 宮良信詳
 (B 8) 3:10～ 身振り (ホームサイン) の文法分析 鳥越隆士
 一沖縄の事例から一

◦C 会 場

- (C 5) 1:20~ フランブラック語の統語的語形成 岩本 遠 億
—日本語の統語後語形成と比較して—
- (C 6) 1:50~ フランス語の使役構文における“se”の 藤田 健
分布に関する統語的分析
- (C 7) 2:40~ Licensing Inheritance in Gokana 那須川 訓也
- (C 8) 3:10~ エストニア語の出格 (relative) と奪格 松村 一 登
(ablative) の用法について

閉会の辞

◇ 平成6年度秋の叙勲において、本学会評議員池上二良氏と三根谷徹氏が勲三等旭日中綬章を、また本学会会員林四郎氏が勲三等瑞宝章を受賞されました。本学会として、心よりお祝い申し上げます。

◇ 本学会評議員亀井孝氏は、平成7年1月7日急性腎不全のため死去されました。謹んで哀悼の意を表します。

◇ 本学会顧問服部四郎氏は、平成7年1月29日肺炎のため死去されました。謹んで哀悼の意を表します。

◇ 本学会評議員岩井隆盛氏は、平成7年2月12日急性循環不全のため死去されました。謹んで哀悼の意を表します。

彙報 第一 (第106号より再録)*

前会長 松本克己

日本学術会議第16期会員候補者等選出結果の報告

日本学術会議第16期会員候補者等選出のための委員による郵送投票を下記の通り行った。

平成5年12月18日 投票用紙発送

平成6年1月11日 投票締切

開票は下記の選挙管理委員会で行われた。

日 時：平成6年1月15日 (土) 13:00~14:30

場 所：三省堂事務局

出席者：松本克己 (会長), 下宮忠雄, 南不二男, 湯川恭敏

開票の結果は下記の通り。

語学・文学研究連絡委員会に係わる会員候補者

当選 松本克己

次点 小泉 保, 徳川宗賢

東洋学研究連絡委員会に係わる会員候補者

1位 西田龍雄

次点 (当選) 梅田博之

(1位の西田龍雄氏が学術会議会員候補者審査委員のため辞退され, 次点の梅田博之氏が繰上当選)

語学・文学研究連絡委員会に係わる推薦人・推薦人予備者

当選 宮岡伯人 (推薦人)

当選 小泉 保 (推薦人予備者)

* 前号に追加訂正として挿入した彙報第一を学会記録として保存するため, 本号彙報に掲載することにした。

東洋学研究連絡委員会に係わる推薦人・推薦人予備者

当選 土田 滋 (推薦人)

当選 田村すず子 (推薦人予備者)

日本言語学会平成6～8年度役員選挙の結果について

平成6～8年度役員（会長・編集委員長・会計監査委員・委員）の選挙を、会則・選挙規則および選挙細則に基づいて、以下の日程で行った。

投票用紙・選挙人名簿等発送 平成6年1月24日

投票締切 平成6年2月14日（消印有効）

開 票 下記選挙管理委員会

日 時 平成6年2月19日 10:30～17:00

場 所 三省堂事務局

出席者 松本克己（会長）、井出祥子、下宮忠雄、田村すず子、
南不二男、湯川恭敏

開票の結果は下記の通り。

投票総数	238	うち有効投票数	235
		無効	3

1. 会長選挙

投票数	235	うち有効投票	229
		白票	4
		無効（白票を除く）	2

当 選 梅田 博之 36票

次 点 柴谷 方良 26票

次次点 土田 滋 23票

2. 編集委員長選挙

投票数	230	うち有効投票	224
		白票	3
		無効（白票を除く）	3

当 選 宮岡 伯人 16票

次 点 井出 祥子 12票

次次点 上野 善道 11票 角田 太作 11票

3. 会計監査委員選挙

投票数 446 うち有効投票 401

(223×2) 白票 29

無効(白票を除く) 16

当 選 柴谷 方良 23票 近藤 達夫 13票

次 点 井出 祥子 13票 湯川 恭敏 13票

4. 委員選挙

選挙細則に基づき、当選者名のみを各地区別に五十音順に掲げる。

[北 海 道] (2名): 池上二良, 宮岡伯人。

[東 北] (2名): 加藤正信, 中村 完。

[関 東] (31名): 石綿敏雄, 井出祥子, 井上史雄, 上野善道, 大江孝男, 大津由紀雄, 荻野綱男, 奥津敬一郎, 尾上圭介, 風間喜代三, 神尾昭雄, 菊池康人, 国広哲弥, 熊本 裕, 柴田武, 下宮忠雄, 城生佰太郎, 杉戸清樹, 鈴木孝夫, 田中克彦, 田村すず子, 土田 滋, 角田太作, 徳川宗賢, 長嶋善郎, 原口庄輔, 松村一登, 松本克己, 南 不二男, 村崎恭子, 湯川恭敏。

[中 部] (9名): 阿部泰明, 小泉 保, 沢木幹栄, 澤田治美, 清水克正, 高見健一, 柘植洋一, 原田かつ子, 藤本幸夫。

[近 畿] (18名): 笈 壽雄, 影山太郎, 崎山 理, 佐藤昭裕, 真田信治, 庄垣内正弘, 杉藤美代子, 成田義光, 西垣内泰介, 西田龍雄, 西光義弘, 仁田義雄, 林 栄一, 堀井令以知, 藪司郎, 山梨正明, 吉田和彦, 吉田 豊。

[中国・四国] (5名): 岩倉国浩, 橋内 武, 樋口康一, 馬瀬良雄, 吉川 守。

[九州・沖縄] (3名): 坂本 勉, 田窪行則, 早田輝洋。

以上70名

なお、梅田博之(関東), 近藤達夫, 柴谷方良(近畿)の3氏は、委員当選に

足る票数を得たが、それぞれ会長あるいは会計監査委員に就任のため、兼任禁止規定により、委員とはならない。これに伴い当該地区で繰り上げ当選が生じた。

平成5年度会計報告

平成5年度の決算は別表1の通り。これは、平成6年4月16日（土）会計監査委員土田 滋、上野善道両氏により、適正であると認められ、平成6年度第一回委員会（彙報第二参照）で承認されたものである。

事務局の移転に伴う役員寄付について

今回の事務局の移転に伴う臨時の出費を補うために、平成5年秋の委員会の決定により、学会役員の方々に1口1万円の寄付をお願いしたところ、平成6年2月末までに48名の役員から合計72万円のご拠金を頂いた。すでに役員各位には別途会計報告を行ったが、ここにあらためて心から感謝の意を表明する次第である。